

滋賀大学環境総合研究センター

研究年報

第19巻第1号 2022年8月

Science for Environment & Sustainable Society

特集論文 世界の水問題における湖沼の主流化：

統合的湖沼流域管理 (ILBM) の成果と新たな課題

Sustainable Lake Management and the Role of ILBM Masahisa NAKAMURA 3

Ecosystem Service Shared Value Assessment (ESSVA) for Integrated Lake Basin Management (ILBM) Masahisa NAKAMURA *et al.* 23

論文

利用者支援事業基本型のためのニーズアセスメントシートと
簡便なマニュアルの開発
—フェーズⅡ叩き台のデザイン、
フェーズⅢ試行と改良の開発過程の実際を中心に— 榎本 祐子
知念奈美子 53メディアの実践的な活用を教授する授業の設計と実践
—環境にも配慮した授業を目指して— 岩井 憲一 65大学への通学が都市交通の課題認識と移動の自由度に与える影響 近藤 紀章
ほか 75

保育者養成における ESD 教材作成のプロジェクト型演習 山本 一成 83

報告・資料

プロジェクト研究活動

- ① 琵琶湖を中心とした社会経済圏の再評価にむけた基礎的研究
～スモール・ビジネスが地域社会にもたらすネットワーク効果に
着目して～ 中野 桂
- ② 循環不全による貧酸素水塊が出現した琵琶湖湖底の底生動物の分布 石川 俊之
- ③ 滋賀県在来「伊吹大根」の機能性および加工技術に関する研究 森 太郎
- ④ 滋賀県長浜市におけるローカル・サステイナビリティのモデル化：
現地フィールドワークをベースにして 森 宏一郎
- ⑤ Raspberry Piを用いた中山間地河川の簡易観測システムの試作と基礎実験 谷口 伸一
- ⑥ 環境教育及びSDGsの視点から捉えた滋賀県の自然災害と自然景観 藤岡 達也
- ⑦ 非負値行列因子分解の時空間データへの適用 佐藤 健一
- ⑧ 全国各地の降水量の時系列解析と多変量解析 水上 善博

滋賀大学環境総合研究センター

研究年報

第19巻第1号 (通巻第19号)

発行日	2022年8月19日
編集発行	国立大学法人滋賀大学研究推進機構環境総合研究センター 〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号 TEL 0749-27-1172 FAX 0749-27-1174
編集委員	市川 智史 (委員長)・田中 勝也 中野 桂・森 太郎
事務取扱 印刷 センター HP	国立大学法人滋賀大学 研究推進課 株式会社 コームラ https://www.shiga-u.ac.jp/rcse/

Special Issue

- Sustainable Lake Management and the Role of ILBM Masahisa NAKAMURA 3
- Ecosystem Service Shared Value Assessment (ESSVA) for Integrated Lake Basin Management (ILBM) Masahisa NAKAMURA *et.al.* 23

Articles

- Developing a Needs Assessment Sheet and Concise Manual for the Childrearing User Support Project Yuko EMOTO and Namiko CHINEN 53
- Designing and Practicing a Class that Teaches Techniques for Practical Use of Media Kenichi IWAI 65
- Effects of Commuting to University on Barriers to Urban Transportation and the Flexibility of Transit Noriaki KONDO *et.al.* 75
- Project-Based Seminar on ESD Teaching Materials for Preschool Teacher Training Issei YAMAMOTO 83
-